

6. 表彰

1. 第 25 回日本ペインリハビリテーション学会・最優秀賞

受賞者：西 祐樹，重藤隼人，藤井 廉，大住倫弘，森岡 周

演題名：慢性腰痛者における歩行時の体幹運動制御の変調は環境に依存する
—非線形解析を用いて—

内 容：慢性腰痛者の歩行を外来環境と日常生活環境において加速度計で計測した．日常生活環境では歩行制御が乱れることを明らかにした．

2. 第 25 回日本ペインリハビリテーション学会・優秀賞

受賞者：林田一輝，西 祐樹，松川 拓，永瀬裕也，森岡 周

演題名：他者に強制された行為に伴う痛みは行為主体感を減弱させる

内 容：行為に伴う痛みの惹起に対して行為主体感が変調するかは，その行為を自分で選択したか否かに依存する可能性がある．本研究では，自由選択あるいは他者強制によって生じる痛みが行為主体感に及ぼす影響を調べた．実験の結果，他者強制による行為に伴う痛みの惹起は主体感を減弱させた．痛み関連行動の動機付けには，自由選択に基づく運動課題の提供が重要であることが示唆された．

3. 一般社団法人 日本パーキンソン病・運動障害疾患学会(MDSJ)・優秀賞

受賞者：岡田洋平，大塚裕之，鎌田理之，山本 哲，澤田 誠，川崎 翼，中村潤二，岡本昌幸，成田 雅，二階堂泰隆，浦上英之，森岡 周，庄本 康治，服部信孝

演題名：パーキンソン病の運動症状およびレボドパ換算量に対する長期理学療法の効果～メタアナリシス～

内 容：疾患早期から中期の PD 患者に対して長期間理学療法を行うことにより，運動症状の進行と抗 PD 薬内服量の増加を抑制する効果があることについてのメタアナリシスの結果を発表し，第 15 回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres優秀演題賞(臨床部門 シニア) を受賞した．

4. 第8回日本予防理学療法学会学術大会・優秀賞

受賞者：藤井 廉，今井亮太，重藤隼人，田中慎一郎，森岡 周

演題名：作業関連動作時の体幹運動を阻害する要因の分析－課題特異的な運動恐怖に着目して－

内 容：腰痛を有する就労者の体幹運動制御障害には，「全般的な運動恐怖」と「課題特異的な運動恐怖」のどちらがより影響するのかを分析した．その結果，課題特異的な運動恐怖の方がより影響することを明らかにした．

5. 第8回日本予防理学療法学会学術大会・優秀賞

受賞者：松永綾香，蓮井成仁，水田直道，比嘉康敬，田口潤智，中谷知生，森岡 周

演題名：律動刺激と経頭蓋直流電気刺激の併用が小脳梗塞後症例の立位姿勢バランスに及ぼす影響

内 容：小脳梗塞後に重度の立位姿勢バランス障害を呈した症例に対する律動刺激・律動刺激と小脳への tDCS の併用は，バランス能力や重心動揺変数を改善した．また下腿筋の同時収縮を軽減させ，姿勢制御の柔軟性を高めることを明らかにした．

6. 第61回近畿理学療法学会学術大会・優秀賞

受賞者：小松健矢，森岡 周

演題名：ステップ動作時の痛み関連恐怖が予測的姿勢調節に及ぼす影響

内 容：健常者の下肢に対する痛み関連恐怖は下肢運動と電気刺激の同期に伴う痛み恐怖条件付けにより習得することが示された．その習得した下肢の痛み関連恐怖はAPA や運動行動に影響を及ぼすことを明らかにした．

7. 第61回近畿理学療法学会学術大会・奨励賞

受賞者：藤田 匠，森岡 周

演題名：運動感覚不一致に基づく運動制御の乱れの特性

内 容：言語情報による文脈が身体所有感と疼痛閾値に与える影響を，健常成人を対象にしたラバーハンド錯覚を用いて検証した．その結果，主観的な身体所有感を上昇させることを明らかにした．